

令和元年9月14日

第5回 地域フォーラム

「生駒市発展ビジョン」

～これからの生駒市のまちづくり～

こむらさき まさし

生駒市長 小紫 雅史



今日お話ししたいこと

I 5つのキーワード

II 具体的な取組



I 5つのキーワード

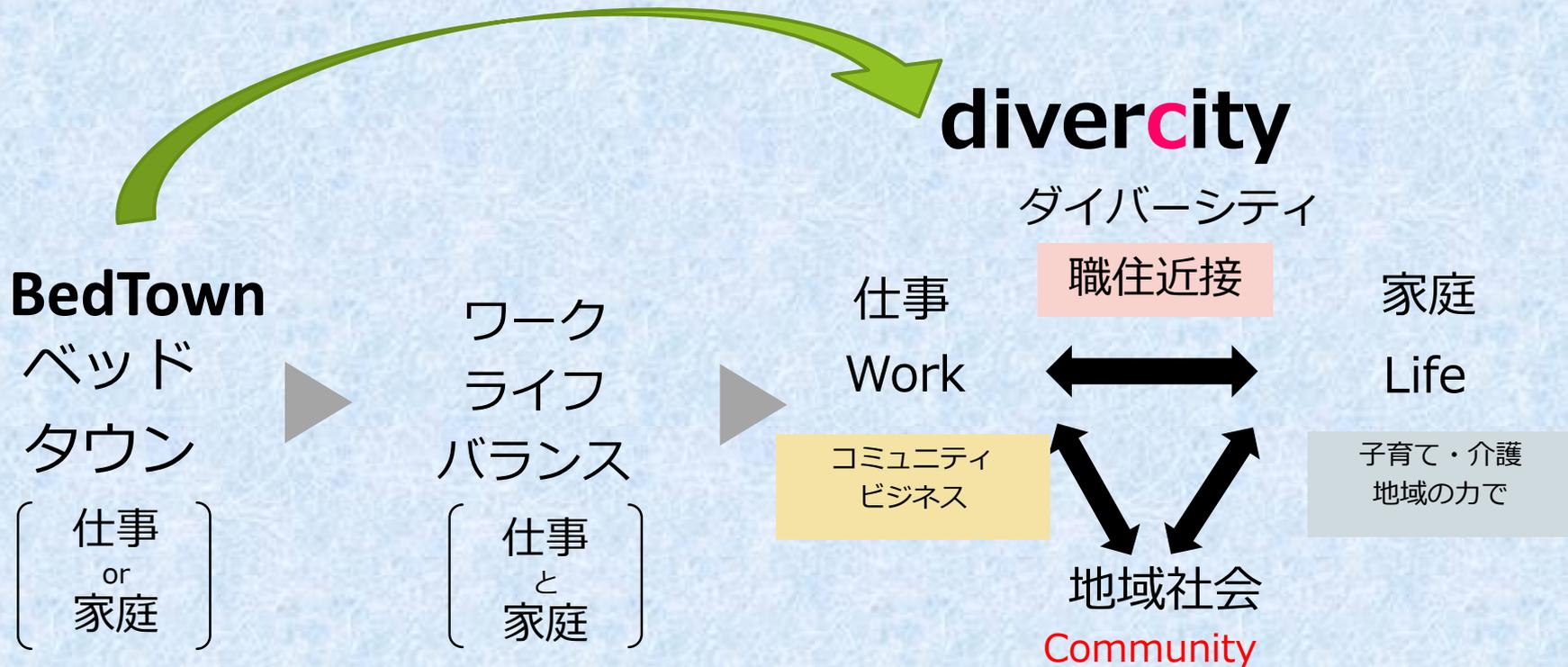


1. 自治体3.0のまちづくり

	自治体2.0	自治体3.0
市民との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民 = お客様 ・ 行政主導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民と共に汗をかく ・ 協創
基本目的	差別化	価値創造
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズに応える行政 ・ 民間企業に負けない！ ・ 「市民満足」の追求 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちを楽しむ！ ・ みんなの課題はみんな で解決！
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市外の人を呼び込む！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内在住者の満足度 ↑ ・ (結果として) 転入増



2. ワーク・ライフ・コミュニティの融合



生駒市の定住意向率: **84.7%**



3. 「12万人総親和」(Inclusive)のまちづくり

生駒市民12万人が各々の違いを多様性として認め合い、自然な形で融和し、頼り合うことが当たり前の社会、安心して楽しく過ごせるまちを目指す

4. 生駒市の強みや特性を最大限に生かして稼ぐ

- ・ 事務事業の見直しなど徹底したコスト削減
- ・ 市民・商工会議所・事業者等とともに住宅都市いこまの強みや特性（自然・伝統、先端技術、退職者や主婦のスキル、市民力など）を生かしたまちの活性化



5. 最先端技術と自然・歴史・芸術をつなげる

- AI、ICT、ロボット、バイオなどの最先端技術と、全国屈指の豊かな自然・伝統文化・芸術が融合するいこまの特性を最大限に生かしたまちづくり
- 2025年大阪万博を活かし、世界的にも大きな注目を集める地域を創る



Ⅱ 具体的な取組

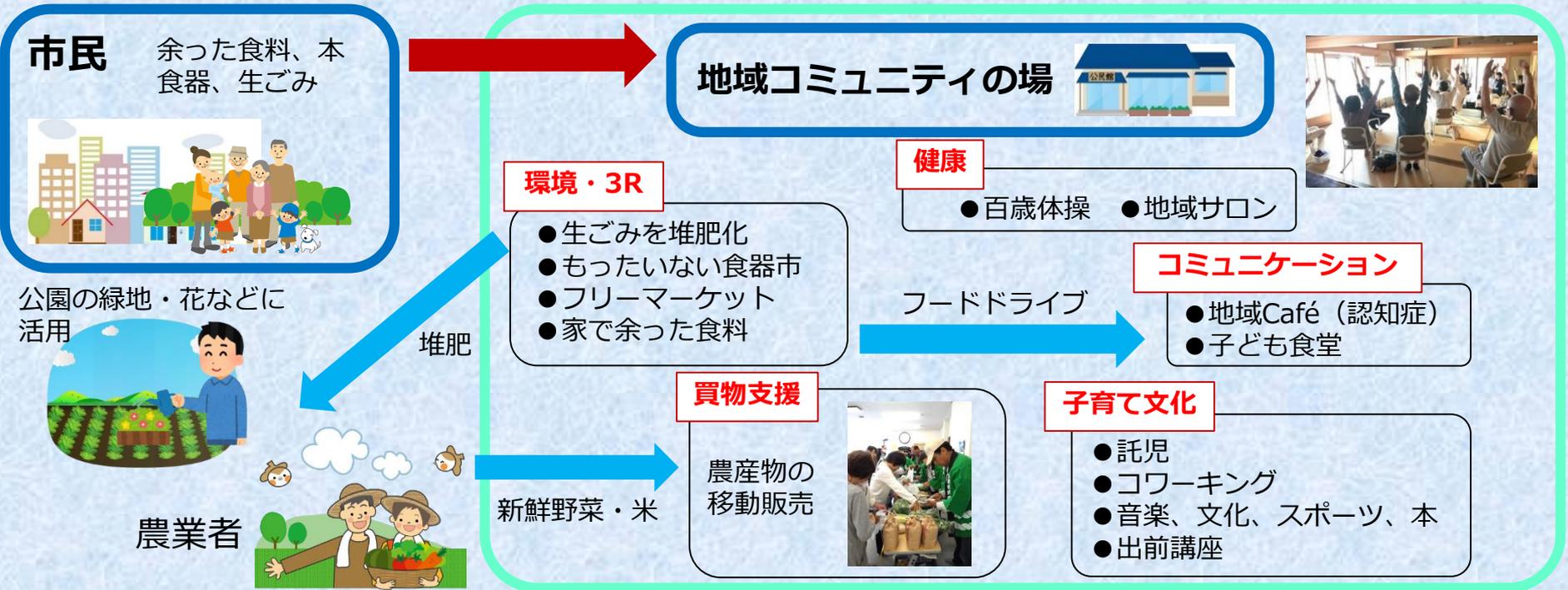


1. 学研高山地区第2工区

- **先端技術**(ICT、AI)などと**伝統工芸、歴史**の融合
- **大阪万博**などの大きな社会変化を見据え、まちづくりの新たな検討組織を立ち上げる
- 世界中から最先端の研究者が働き、居住する国際的な注目を集めるまちづくり



2. 100の複合型コミュニティづくり



最大の移動支援を市民・事業者による運営で実現！



VisionからActionへ

市制50周年から次の50年

を見据え市民とともに取り組みます！

